

# 【 西裏用水 (安養寺堰) 】

管 理 者	元荒川上流土地改良区	受益地域	鴻巣市・菖蒲町
-------	------------	------	---------

## 用 水 の 変 遷

江戸時代忍藩の頃、水田開発によって水路の開削を行い、元荒川本川に笠原堰を設置し取入樋管より取水していた。明治時代以降も水田開発が進み、それに合わせて水路も拡張してきた。その後、県営排水幹線改良事業元荒川地区(T8～S12)により、数箇所あった堰を統合し、上流にあった宮地堰から取水を行うことになった。また水路も、統合のため廃止された堰の笠原用水に連絡し、西裏用水と呼ばれるようになった。近年では、宮地堰や水路の老朽化による治水、利水上の問題から県営かんがい排水事業安養寺地区(H8～)により、現在の宮地堰を廃止し、上流へ新たに安養寺堰を新設し、水路改修も行っているところである。

## 用 水 位 置 図

